

## 年長に向けていろんなことに挑戦！

作成日：2026年2月17日

対象児：4歳児さくら組

作成者：吉岡愛佳

ねらい：年長児になることに期待感をもちながら活動に参加する。



～振り返り～

年長に向けて、2学期まではカラーペンやクレパスを使ってのプリントや色塗りだったが、3学期からは自分の鉛筆を使えるようになることに「今日鉛筆使う？」「今日はプリントやらの？」と期待感をもっている姿が見られていた。平仮名のプリントが始まると、「これ〇〇ちゃんの字！」「これ僕の名前の字！」と誰の名前に入っている平仮名なのか楽しみながら活動に参加する姿が見られた。簡単！と書ける平仮名がある一方で、左右の向きやクルッとまわる平仮名など「難しい！」「一緒に書きたい」と言葉にする姿も見られていた。自由遊びの中では、お友達の名前を書いたり、手紙を書いたりする姿も見られていたので、平仮名をいつでも見えるように、平仮名表を貼ってみた。すると「ろはこれ！」「それはこれじゃない？」と自分で見つけたりお友達に教えてあげたりして子どもたち同士の関わり、伝え合いにも繋がった。

ご供養の活動では、ののさま集会で年長児がご供養をしている姿を真剣な眼差しで見ている姿がみられた。年中でもご供養の活動が始まり、自分たちで協力して並べると良いなと思い、「〇人ずつ自分達で並べるかな？」と声をかけると、とっても早く自分たちで話し合ったり数えて2列に分かれていた。隣のお友達とスピードや礼を合わせたり背筋を伸ばして「次は自分達がするぞ」と真剣な姿がみられ、1年間での成長を感じた。

鼓隊の活動でも、昨年の子の姿を思い出して楽器を持って運動会に参加することに期待感をもち、「〇〇の楽器がしたい！」「さっき間違えずにできた！」と楽しみにしている姿が多く見られている。

年中での1年間の姿を思い出すと、色んな事に挑戦してできるようになったことや成長がたくさん思い浮かびます。次の年長児になることに期待感をもち活動に参加出来るように環境を整えたり、年長児への活動は大切ですが、クラスでの遊びなど今のクラスの時間も楽しめるように関わりたいなと思う。**（自立心、数量・図形・文字等への関心・感覚、言葉による伝え合い）**